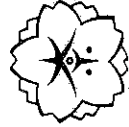


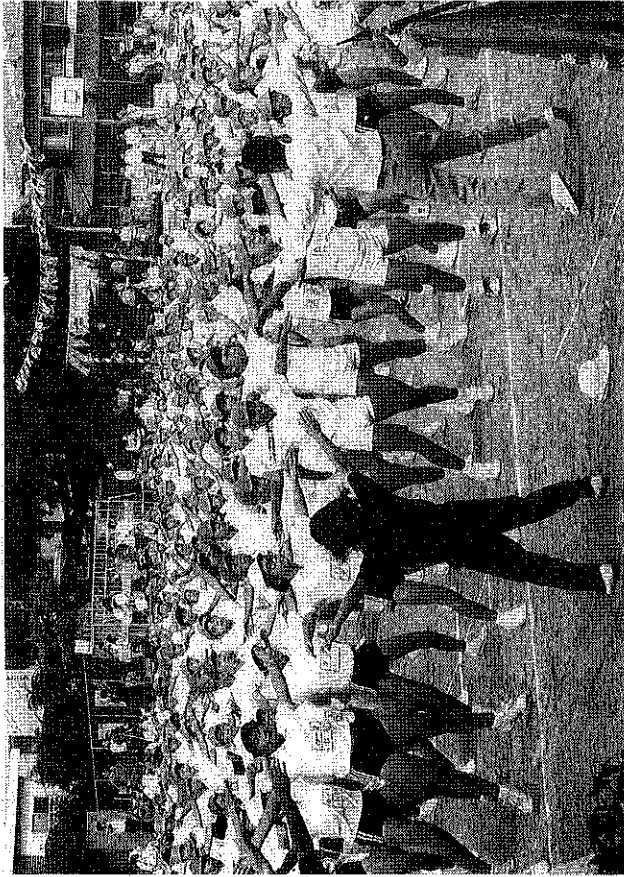
No.28

発行/奈良市議会  
編集/奈良市議会だより  
編集委員 会



〒630 奈良市二条大路南1-1-1  
奈良市議会議務局  
☎ (0742) 34-4734

# 奈良市議会だより



準備体操で体をほぐす小学生(飛鳥小学校で)

定例会初日の招集あいさつ  
の冒頭で市長は、去る九月六  
日午前十時五十分ごろ環境清  
美センター敷地内に仮置きし  
ていた粗大ごみが突然燃え出

した。原因を調査中であるが  
発火性危険物が混入していた  
可能性もある。今後十分注意  
して万全を期してまいりたい  
が、市民皆様のごみの減量や

## 九月定例会

平成三年九月定例会は九月七日から同二十日までの十四日間の会期で開きました。今議会では、平成二年度水道事業会計決算の認定についてなど報告三件と平成三年度一般会計補正予算など十七議案及び追加提案された助役の選任など人事案件四件と、「奈良市東部ゾーンにおける大規模開発に関する基本方針」案が上程されました。また、議員から意見書四件、決議一件が提案されました。

## 東部ゾーン大規模開発に関する基本方針提案 都市基盤整備特別委で審査

平成二年度公営企業会計決算の概況は下表のとおりで、

## 黒字3億5800万円 水道事業会計

万二千円の黒字となっています。

収支	当年度		当年度未処分利益剰余金	資本的収支		内部留保資金等充当額	
	収入	支出		収入	支出	収入	支出
老地造成	2,858	20,815	518,724	0	535,805	535,805	
水道	6,771,308	6,395,741	1,917,588	732,678	2,069,023	1,336,345	
簡易水道	128,279	124,820	2,274	9,727	53,563	43,826	
合計	7,958,445	7,641,376	2,438,586	742,405	2,648,451	1,915,976	

※収益的収支...経営活動に伴い発生する収益と、これに対する費用  
※資本的収支...経営活動に必要とする設備投資に要する費用  
※内部留保資金...収益的収支のうち、現金支出を伴わない費用が内部に留保される

排出時の分別などにはお届  
のご協力を賜りたいと述べら  
れました。  
また、雲仙普賢岳の噴火に  
より被害を受けられた方々に  
対する市民や議員、職員など  
からの義援金二千百十九万五  
千九百三円の長崎県共同募金

会への送付や、非核平和都市  
宣言の精神を踏まえての平和  
モニュメントの制作、西老春  
の家の開館、十月に奈良市で  
開催される「東大寺サミット」  
への市としての積極的な参画  
など市政についての報告や所  
信を述べられました。

この後、報告三件、議案十  
七件が上程され、八人の議員  
が質疑・一般質問(二・三面  
に要旨を掲載)を行い、平成  
二年度水道事業会計決算の認  
定についてなど報告三件につ  
いては公営企業決算特別委員  
会を設置して付託し審議した  
結果、すべて原案どおり可決  
しました。  
また追加提案された辰野一  
郎氏を助役に選任すること、  
榎村久子氏を教育委員会の委  
員に任命すること、阪本謙治

氏を公平委員会の委員に再任  
すること及び固定資産評価員  
に辰野一郎氏を選任すること  
に同意し、「奈良市東部ゾー  
ンにおける大規模開発に関す  
る基本方針」案については都  
市基盤整備特別委員会に付託  
し閉会中も継続して審査する  
こととしました。  
また議員から提案された意  
見書四件、決議一件(別掲)  
についてもすべて原案どおり  
可決して九月定例会を閉会し  
ました。

## JR促進代表者会を設置

### 国庫補助調査実現へ陳情

奈良市議会では、昭和六十  
三年十二月に「JR連続立体  
事業促進代表者会」を設置し、  
JR線の連続立体化の実現を  
図るため国や県に働きかけて  
きたところですが、本年四月  
に議員の改選が行われ議会の  
構成も変わりましたので、今  
回改めて代表者会を設置しま  
した。

今、JR奈良駅周辺で進め  
られている新都市拠点整備事  
業の進捗に伴い、JR線の連  
続立体化がクロースアップさ  
れてきています。連続立体事  
業は県が主体となって行うも  
のですが、事業化には膨大な  
経費を要し、国の補助が不可  
欠となります。現在までに国  
の補助採択を得るよう市、県  
で事業化に向けた調査を実施  
し、国に対して国庫補助によ  
る調査費の予算計上を要求し  
てきたところですが、実現に  
は至っていません。

このため、国の来年度予算  
の編成に向け、調査費の国庫  
補助を受けるべく積極的な働

きかけを行う必要があり、奈  
良市議会においても関係者一  
丸となって国へ働きかけるた  
め代表者会を設置したもので  
す。構成は正副議長、都市基  
盤整備特別委員会正副委員長  
各会派からの代表者の計十二  
人でメンバーは次のとおりで  
す。

浅川清一議長、中西義次副議  
長、米澤保都市基盤整備特別  
委員会委員長、尾谷進同副委  
員長、中村誠一、小嶋高年、  
西村孝春(以上交政会)、横  
井健二、橋本和信(以上政友  
会)、北尾好章(公明党)、  
横田利孝(共産党)、松石聖  
一(社会党)

## 意見書・決議

九月定例会で可決し、政府  
等に提出した意見書、決議の  
要旨は次のとおりです。

### ▽子供の権利条約の批准に関 する意見書

子供の権利を保障するため  
法等の整備を図り「子供の

権利条約」の批准を要望

▽看護婦の確保対策に関する  
意見書  
看護婦の確保を図るため養  
成施設の充実、労働条件の  
改善・整備等具体的な対策  
を講じるよう要望

▽白内障の眼内レンズと手術  
料に健康保険の適用を求め  
る意見書

白内障患者の眼内レンズ装  
着手術が健康保険の適用対  
象とされるよう要望

▽治水事業の促進に関する意  
見書

平成四年度を初年度に「第  
八次治水事業五箇年計画」  
を策定し、治水事業を推進  
されるよう要望

▽ゆとり宣言に関する決議  
労働時間の短縮、生活環境  
の整備等活力あるゆとり創  
造社会の実現に努力する

## 森本三郎議員逝去 準市議会葬で送葬

森本三郎議員(八十三歳、  
維町町一―二)は九月二十一  
日、入院先の市内の病院で心  
不全のため逝去されました。

九月二十四日、政・官界関  
係者出席の下、準奈良市議会  
葬を執り行いました。浅川清  
奈良県議会議長、西田栄三奈  
良市長、浅川清一議長の吊辞  
に、参列者は森本議員の生前  
の功績をしのびました。

同氏は昭和三十四年五月に  
奈良市議会議員に初当選され、  
九期目でした。昭和五十八年  
五月から昭和五十九年十二月  
まで議長を務められました。

同氏の生前の功績に対し、  
従五位勳四等瑞宝章が贈られ  
ました。

# 答弁

## 生活関連の経費に 基金75億円の使い道

問 財政調整基金は、現在十五億円になっている。市民が切望しているのは福祉教育、住宅、ごみなどの行政に十分な金を使うことだが、現実には、こうした生活関連より開発優先の行政になっていると思うが市の考えは。

答 財政運営は、単年度で行われるものだが、市の場合には、十年の基本構想による基本計画によって、多く財源を必要とする年と反対に少なくてよい年とがある。

このため長期的に考えて、積み立てている調整基金は、残していかなければならない。従って基金の取り崩しは単年度の臨時的、建設的な経費に充当し、経常経費には使わない。

本年度は七十五億円のうちから二十九億円を使わせても

## 財政

九月十一、十二、十三日の三日間に開かれた本会議では八人の議員が質疑・一般質問を行いました。三日間を通じて各議員は、さきに国が策定した高齢者保健福祉推進十カ年戦略に沿った、さまざまな市独自の施策を求めました。また、住宅、幼児保育、水道料金、ごみのリサイクルなど日常生活に直結した問題について熱心な質問がありました。

以下は、質問と市長以下関係理事者の答弁の要旨です。

## 本会議

# 高齢化社会の諸施策論議 水道事業の見通しも

答 法の期限切れが迫っているが、残事業も相当数かかえており、手をつけていない所もある。早期に着手しなければならぬが、基本法の制定が大事であると考えている。そのため、法制定に向けて努

力しているが、もしそういう法律ができなくても今まで続けてきた事業やこれからする事業は、引き続き重点的にやっていく必要があると考えている。

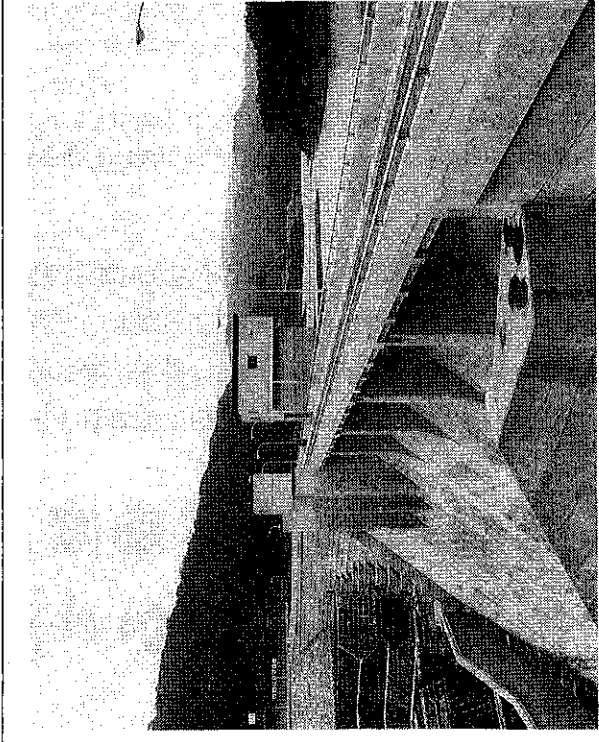
## 水道行政

### 料金は二年間上げない 改定は平成六年度予定

問 布目ダムが完成すれば利水負担金の支払いが生じるが料金改定を含めた今後の財政運営はどのように考えているのか。

答 布目ダムの完成により、平成四年度から供用が開始され、同年度から二十三年間年額十六億円程度の利水負担金の支払いが生じる。これがどのように水道料金の値上げに

つながるかどうかだが、市の水道事業は、昭和五十九年から健全財政を維持し、積み立てた利益剰余金が約十億円近くある。その上に市からの繰出金に係る国の交付税の算定基準も変ってきているので、四年度から二カ年は、現行の料金でしのげると思うが、六年度から料金値上げをお願いせねばならないと思う。



完 成 し た 布 目 ダ ム

## 障害者福祉

### リフトつきバスの実現へ バス会社と交渉中

問 車椅子利用者から要請されているのは買い物や通院に出かけるためのリフト付きのバスである。市としてバス会社への助成を前提に運行させてはどうか。また、リフト付きのタクシーの運行も委託してはどうか。なお障害者の

ための授産施設の進捗状況はどうなっているのか。  
答 福祉に対する基本的な考え方を、与える福祉ではなく、みんなで作る福祉だととらえている。そのためにもいろんな面でハンディキャップを受けている人が安心して

## 高齢者福祉

### ゴールドプランとの 整合性は

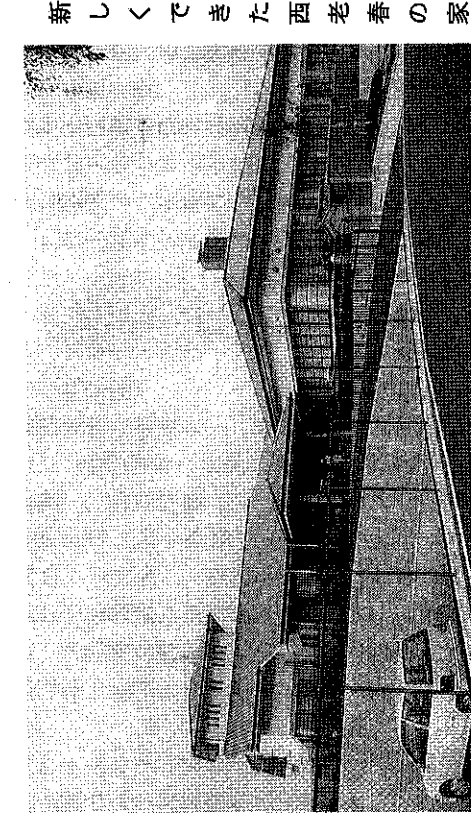
問 高齢者の急速な増加で要介護者の問題は、日に日に緊急性を増してきた。

一九八九年、厚生省は高齢者保健福祉推進十カ年戦略(ゴールドプラン)を打ち出し、地域主導の施策を求めている。これをどのように受け止め、対策を考えているのか。

答 いつまでも元気でいてもらう施策も必要であり健康な高齢者に利用してもらうため、西老春の家が完成した。在来の東老春の家は内部を改修して機能を充実していく。

一方、高齢者とそれ以外の一般市民のための医療検査センターもようやく用地買収が終わって、基本計画を策定中である。訪問入浴サービス、痴呆性老人の在宅サービスについても拡充を図っていく。

また、高齢になっても仕事や趣味を持つなど生きがいを与える対策を考えたい。それによって痴呆や寝たきりを封



新しくできた西老春の家

じるよう生涯教育と関連して、何を行うかを模索中だ。

### 補助のアップ必要 特養ホーム建設に

問 民間による特別養護老人ホームが八月に高の原に完成し、三七名が入所したが、まだ、入所できない待機老人

がいる。特養ホームの新設のネックは用地費と建設費だ。高の原の特養ホームも建設費六億四千万のうち、国、県、市の補助は三億円余りだった。市の建設費補助のアップと現在補助対象になっていない用地費も補助の対象にできないか。  
答 特養ホームの建設は、設置者の負担を軽減するため国や県以外に市独自の助成要綱を作って助成しているが、建設費の高騰で負担が増えていっているので新しい補助基準が必要と考えている。また用地の確保もますます困難で、何らかの手当が必要とと思っている。

健康者と同様に暮らしていただけるような設備や施設造りを進めていきたい。

リフト付きバスは現在、奈良交通と実現に向けて協議中で、タクシーについては、なお慎重に検討せねばならない。

授産施設は、奈良阪町で計画しており平成五年の開園をめどに地元と協議をしている。

### 東部開発

**問** 市の面積の半分を有する東部ゾーンは、市の中心部から20キロメートル以内の地域である。この地域の活性化を考えると、国道三六九号線だけでは対応できない。この地域から京都、大阪への新しい基幹的なアクセス道路の整備が必要と思う。

**答** 地域の状況をみると、現在県に要望している三六九号線の拡幅だけでは処理できない。別に外環状線(ならやま大通り)の延長線上の道路を隣接の京都府や県とも協議して建設していきたい。

### 担当部署を新設

**問** 東部ゾーンに住む住民の生活環境の向上に欠かせない下水道整備計画の現状は。

**答** 先般、建設省に赴き要望をした。どんな方法でやるかを調査研究をしている。

**問** 東部地域でのゴルフ場計画は、これまで地元住民と業者との話し合いや地元の積極的な誘致を前提としていたが、ゴルフ場を含めた東部ゾーン全体の大規模開発に関する今後の市の基本方針をどうするか聞きたい。

**答** この地域は、新総合計画によってレクリエーション、スポーツのゾーンとして開発する計画である。しかし、これに対する環境

### 道路・下水道促進へ

汚染の問題があるので、十分な配慮をしていかねばならないので苦慮している。

**問** 先日、環境清潔センター内の大型ごみの仮置場で起こった火災は発火性の危険物の混入によるものらしいとの緊急報告があった。大型ごみの減量化と危険防止にリクエスト方式(通知をうけて有料で引き取りに行く方式)を早期に実施してはどうか。

**答** 大型ごみ回収のリクエスト化は、去る七月から東京で行われ、すでに全国で一五

### 環境清潔

## 大型ごみのリクエスト方式検討

### ごみの再資源化は公民館を拠点に

つあり、東部ゾーンの大規模開発に関する基本方針ということで議会の審議を願いたいと考えている。

**問** 先日、環境清潔センター内の大型ごみの仮置場で起こった火災は発火性の危険物の混入によるものらしいとの緊急報告があった。大型ごみの減量化と危険防止にリクエスト方式(通知をうけて有料で引き取りに行く方式)を早期に実施してはどうか。

**答** 大型ごみ回収のリクエスト化は、去る七月から東京で行われ、すでに全国で一五

# 質問と

## 住宅

### 貧弱な市の住宅政策

#### 用地取得がネック

**問** 住んでよかったと市民が感じる要因は、住居とその環境だ。

人口三十五万の都市でありながら一般向け市営住宅はわずか七百戸しかない。

国の第六期住宅建設五カ年計画に対する市の計画はどうなっているのか。

**答** 市営住宅を作るための用地取得が非常に困難である

のが現状だ。

さきの第五期五カ年計画は平成二年に終わったが一九〇戸の計画に対して建設できたのは一七〇戸で達成率は五八・六%だった。

平成三年度からの第六期の五カ年計画も用地難の中で建て替え利用を基本に公営住宅五四三戸の建設を推進していると考えだ。

## 住宅の家賃

### 来年三月決める

**問** JR奈良駅前に出来る予定の市営住宅・コミュニティ住宅の家賃が未だに発表されない。

あと数カ月で完成するが、入居を希望しているのは新都市拠点整備事業実施地区に住む借家人、借家人など二〇世帯である。

市では、二名、大安寺の既設の市営住宅の家賃を参考に家賃を決めるというが、現在、安い家賃の借家人に住んでいる人たちが、高い家賃の

## 学校教育

### 敬老の体験学習

**問** 高齢化社会を迎えて在

コミュニティ住宅に人居が可能かどうか。最低三千円の家賃に住んでいたり、生活保護を受けている人もいます。家賃の減免規定を作るなどの方策を考えていないか。

**答** 入居予定者二〇世帯について調べたところ、三千円の低家賃の世帯もあるが、平均は一万八千八百円だ。二名、大安寺の市営住宅を参考に家賃を検討し、平成四年三月議会に提案したい。

### 中学に給食を

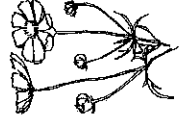
**問** 女性の社会進出の増加

老福祉が重視されているが、子供たちに実習と体験で老人の生活や考えをよく知らすべきたと思う。本市での小・中学校における取り組みについて見解を聞きたい。

**答** 現在の核家族化で子供たちが高齢者と接する機会が少ないので、その交流を図るため、幼・小・中学校では、行事にお年寄りを招いたり、また老人ホームを訪れたりして敬愛のボランティア精神を体得するようにしている。

によって中学校での学校給食の希望が高くなっているが、市教委の考えは。

**答** 家庭教育の関連からみて中学生になれば栄養のバランスを考えながら与える食事から求める食事への習慣化を図る必要があるし、自分で料理が作れるような自己管理能力の育成をすることも大事だ。現在の時間設定では、ゆとりある給食時間を作ることは難しいこともあり、今のところ、全市の中学で実施することは考えていない。



## ため池に繁茂する雑草

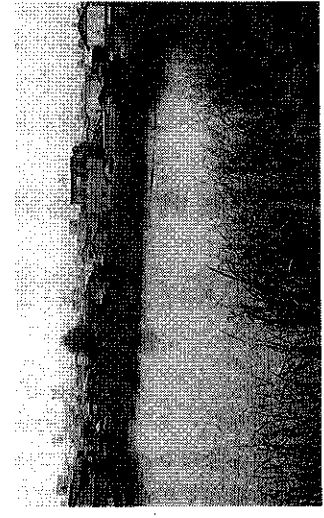
### 除去に条例措置を

**問** 旧市内のあるため池に雑草が繁茂し、種子や花粉をまき散らしたり冬場には火災の危険性がある。市内に三百七十一カ所あると聞く多くのため池も例外ではない。空き

**答** 空き缶のプレス機は、本年七月、全市の小・中学校に実践教育の教材として配置したもので他の教材と同様に一般市民の利用はできない。空き缶のリサイクルについては、回収業者がほとんどないために、空き缶も含め再生资源として、現在、市で回収する方法を検討している。回収の拠点として公民館などを活用することは、運営管理体制の調整を図りながら全体的な枠組みの中で検討したい。

地の雑草の刈り取りについては消防法や火災予防条例等に規定されているが、ため池の雑草に適用する法律もなければ条例もない。こうしたため池などの雑草の除去に適用できる条例措置を行う考えはないか。

**答** ため池に枯草ということとは予想もしていなかったたのでそういう案項はないが、指摘のため池については、近隣住民の生活環境を害しないよう所有者に雑草の刈り取りを申し入れている。また旧市街地における大きな空地の一つであるので公共用地として利用できないか所有者に申し上げていないが実現に至っていない。協力してもらえようさ



## 児童福祉

### 入所待ち幼児増加

**問** 保育園への入所は、両親が働いていることが条件だが、奈良市では、母親の勤務地との関係から希望する保育園に入るために待機している幼児が四五八人もいると報道されている。

定員割れをしている保育園はあっても、一方で希望する園へ入所できない子供が多い。待機幼児の問題について聞きたい。

**答** 新総合計画において待機児童を解消すべく保育園の増設を計画している。現在伏見保育園の定員増を含めた全面改築を進めているところである。

### 子供の権利保障

**問** 一昨年十一月の国連総会で「子供の権利条約」が採択された。条約は、子供を単なる保護の対象でなく、権利行使の主体として国際的にこれを保障しようとするもので条約が批准されれば国内法の改正や行政上、財政上の措置が求められる。どのように受け止めているのか。

**答** 趣旨には大いに賛同する。児童福祉法の理念からいってもこの条約は批准されるべきであると考えている。福祉行政や教育の中でもこの精神を生かしていくべきであり早期に批准できるよう働きかけていきたい。

# 公営企業決算特別委員会審査概要

委員会は、九月十三日、十七日、十八日の三日間開かれ、付託された平成二年度宅地造成事業費特別会計決算、水道事業会計決算、簡易水道事業会計決算の認定についてを審査した結果、いずれも認定すべきものと決定しました。以下は、委員会審査の主な内容です。

## 水道会計

### 鉛管取り替え推進

問 鉛管を使用しない旨厚生省から通達が出ているが鉛管の取り替え等に対する市民へのPRはしているのか。

答 工事施工時や修繕時に公道部分の布設替えをしている。各戸の給水装置部分の取り替えについては、工事申し込みの際指導していきたい。

### 小規模受水槽の問題

問 十トン以下の小規模受水槽の衛生問題の解決策は。

答 本年八月、三階建て専用住宅の受水槽設置の義務付けを解除したが、さらに水圧等を調査し、実情に合った形での直圧給水の拡大を考えている。安全・衛生管理については、手引書の配付や巡回指導等により行いたい。

### 東部地域の上水道

問 東部地域の上水道整備計画の概要と今後の財政負担はどうなるのか。

答 生活用水として十八カ所の配水区域、二十五カ町の未給水区域で一人当たり五百リットルの四十三百七十トン、公共施設や開発に係る地域で

一万二千三十トン、合計一万六千四百トンを計画している。建設費は約百三十億程度を見込んでおり、国庫補助対象事業として考えており補助金の獲得に努めたい。九月には厚生省の認可がおりる予定で、現在測量、実施設計の作業に取りかかったところである。

### 間欠式空気揚水筒

問 布目ダム湖水原水の水质管理に対する公団との協議内容は。

答 においを発するプランクトン対策として須川ダムで利用している間欠式空気揚水筒の設置を申し入れ了解を得た。

### 30種以外の農薬検査

問 基準項目三十種以外の農薬の検査はどうするのか。

答 厚生省に対し、基準項目以外の使用実態を報告し、検査等の対応についても要望している。水道局としては基準項目外のオキサジアゾン等についても引き継ぎ監視体制をとっていく。

### ゴルフ場新增設の凍結

問 須川ダム直下に計画中の二つのゴルフ場は、水質保全の観点から凍結すべきではないか。

答 厚生省の農薬の暫定目標値を大きく下回るのであれば許容範囲であり相対的安全性といえる。現時点ゴルフ場の凍結は考えていない。

### 水源保護要綱制定

問 水源保護条例もしくは要綱制定への取り組みは。

答 条例では水道法上の根拠が希薄であり、上位法令との関係で結びつく点が非常に少ないので、当面は実質効果をねらい要綱案を出したい。

### 奈良市の水は良い水

問 他の都市と比べたら奈良市の水のランクは。

答 淀川の水と比較すると白砂、布目、木津川の水は比べものにならないほど良い水である。また、塩素の量を除き、厚生省から出しているおいしい水のガイドラインの上位にランクしており、全国でも上の部に入ると感じている。

### 下水道で有機物分解

問 今後のトリハロメタンの削減対策は。

答 昭和五十七年からフミン質等の除去後塩素を追加する中間塩素処理の方法に切り替え一定の効果を上げている。須川ダムから緑ヶ丘浄水場ま

## 公営企業決算特別委員会

- 委員長 岸 宏明
- 副委員長 北尾 好章
- 上原 雋 森 純男
- 山口 誠 船越 義治
- 岡田佐代子 中村 篤子
- 原田 栄子 山本 清
- 米澤 保 松石 聖一
- 和田 晴夫 小嶋 高年
- 横井 健二

で、すい道を利用して微生物処理による有機物の分解ができればフミン質等の減少につながり結果的には、トリハロメタンの減少にもつながる。

### ライフラインは良好

問 水道の地震等災害に対する対策は。

答 ライフラインの調査では良好との結果が出ているが配水区を系統だてて校区間における配水連絡調整をできるようにしている。将来に向かっては、配水コントロールのためのマッピングシステムの導入を図っていく。

## 簡易水道会計

### 石綿管の改良

問 石綿管の改良状況は。

答 昭和六十二年度に石綿管の改良十年計画を樹立して以来、平成二年度までに全体の約三十四%の改良を行った。今後とも改良計画を進め安全給水に努めたい。

## 宅地造成会計

### 収入不足の原因

問 当年度売却収入が十五

億三千万円余の収入不足になった理由と今後の見通しは。  
答 都市計画街路事業用地の代替用地として予定している

## 北九州市の再開発事業視察

### 都市基盤整備特別委員会

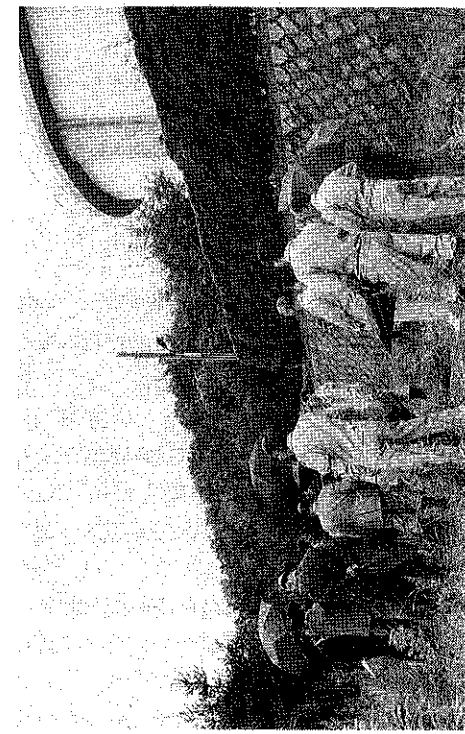
都市基盤整備特別委員会は、十月三日、JR小倉駅前都市街地再開発事業を進めている北九州市を行政視察しました。小倉駅前東地区再開発事業は北九州市の表玄関で、都心商業地区としての重要な地区でありながら木造建築物や広範囲な未利用地が有るため、土地の合理的、健全な高度利

用を図ろうというもの。事業の中心施設としての再開発ビルは地下三階、地上十四階で建築面積は八千三百平方メートル、延べ床面積は十一万三千八百九十平方メートル。特別委員会は昨年十二月に着工した現場の視察も交えて事業内容の説明を担当職員から受けました。

## 請願審査に現地を視察

### 企画建設委員会

「黒谷配水池東面の住宅建設 停止措置に関する請願書」を審査している企画建設委員会は十月一日、帝塚山四丁目の黒谷配水池東面の住宅建設予定地を視察しました。



現地を視察中の企画建設委員

現地では周囲の状況などを見ながら、市の担当者から説明を受け、この日、午後から開催された委員会の審査の参考になりました。

また、この日、黒谷配水池中ノ川町の積水

- ▽奈良都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について
- 第四負担区の受益者負担金の単位負担金額の設定
- ▽財産の取得について

- 事
- ・平城中学校校舎増築その他工事
- ・仮称奈良市史資料館新築その他工事
- ・交通安全施設整備工事

## その他 九月議会で決まったこと

- (三十五号級はし)付消 防自動車(取得)
- (登美ヶ丘中町線・鶴舞歩道橋)
- ▽工事請負契約の締結について
- ・権井小学校屋内運動場・プール改築その他工
- ▽委託契約の締結について
- 奈良町並み復元模型製作

化学工業工場移転予定地も視察しました。

## 議会日誌

- 20日 本会議(九月定例会閉会)
- ☆十月
- 1日 企画建設委員会
- 2日 議会だより編集委員会
- 3日 都市基盤整備特別委員会
- 4日 会、北九州市を視察
- ☆七月
- 9日 議会だより編集委員会
- 22日 企画建設委員会
- 29日 都市基盤整備特別委員会
- ☆八月
- 1日 議会だより第27号発行
- " 議会だより編集委員会
- 2日 高知市を視察
- 5日 総務財政委員会
- 20日 教育厚生委員会
- 30日 経済水道委員会
- 31日 内示会
- ☆九月
- 2日 幹事長会
- " 議会運営委員会
- 6日 議会だより編集委員会
- 7日 本会議(九月定例会閉会)
- 11・12・13日 本会議
- 13日 公営企業決算特別委員会
- 17日 "
- 18日 "

## 編集後記

◎秋はスポーツの好期。市内の小学校でも九月下旬から十月上旬にかけて運動会が行われました。一面には飛鳥小学校での運動会の写真を掲載しました。あいにく天候には恵まれませんでしたが児童たちは日頃の練習の成果を発揮、応援の父母たちもさかんに声援を送っていました。◎編集委員会は、八月一日、二日の日程で高知市を視察しました。今後の議会だより編集の参考にし、より親しみのあるものになりたいと思っております。